

(法第 26 条関係「定款変更認証申請」)
(法第 28 条関係「書類の備置き」)
(法第 29 条関係「事業報告書等の提出」)

平成 30 年度の事業報告書

平成 30 年 4 月 1 日から平成 31 年 3 月 31 日まで

特定非営利活動法人 母と子の虹の架け橋

1 事業の成果

(1) 虹の家

小規模保育所 B 型として 0 歳児～2 歳児の保育を継続。定員 16 名。保育室 1 室の中で月齢の異なる子どもが生活しているため、2 歳児が 0 歳児、1 歳児の面倒を見るなど微笑ましい光景を目にすることも多かった。

全面自園内給食を提供しており、季節や行事に合わせたメニューや、栄養バランスのとれた食事を心がけ、薄味を基本とし、年齢別に食べやすい大きさ、柔らかさに気を配り、彩りを考え、目で見て食欲をかきたてる工夫をした。

保育参観として「ミニ運動会ごっこ」を計画し、親子でのふれあい遊び・保護者との交流の場をテーマとし、はじめて保育園を離れ中妻体育館を利用して開催した。保護者や職員が自己紹介をする時間を設け、体操のあとにはタオル遊びや、トンネルくぐり、パン食い競争に見立てた障害物レースなど、親子で身体を動かして楽しい時間を過ごした。

今年度は従事する保育士が充実し、釜石市認定の家庭的保育者とともに保育の向上を目指した。施設内外の研修に参加し、職員一人一人のスキルアップにも努めた。法人初初の『虹の家』『ベビーホーム・虹』2 施設合同での施設内研修会も開催し、小規模保育についての基礎知識を深め、職員の意識統一も図った。

(2) ベビーホーム・虹

小規模保育所 B 型として 0 歳児～2 歳児の保育を継続。定員 12 名。月齢・年齢的には身体的行動力が大きく異なるが、保育室がほぼ 1 室であることから全員が同室での生活であるため、注意深く見守るよう努めた。

4 月に小川から小佐野へ移転し、子供たちから元気をもらいながら、地域・市・連携施設の協力をいただき事故もなく保育事業を行うことができた。

12 月には恒例のクリスマス会の保育参観があり子ども達が毎日練習したお遊戯を披露し、保護者の方と一緒に楽しんでいただいた。

散歩の際など外を歩いていると近所の方々が声をかけて下さることが多く、子ども達とタッチをしたり、足を止めて会話をしたり、子ども達は保育者の真似をして、すれ違う方々に「おはよう」「こんにちは」「バイバーイ」と声をかけるようになった。地域の方々と交流も出来、地域に守られていると感じている。

子ども達は皆、出来なかったことがたくさんできるようになり、体も心も大きく成長した。職員全員で、保育に関わりその成長を日々見守ることができその成長を保護者の皆様と共に嬉しく思う。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事 者の 人数	受益対象者 の範囲及び 人数	事業費 の金額 (千円)
支援を必要 とする人々 を支える事 業	「虹の家」 小規模保育事業 B 型	30.4.1 ～ 31.3.31	虹の家	10 人	6 ヶ月～2 歳児 の待機児童 (134 名)	40,068
	「ベビーホーム・虹」 小規模保育事業 B 型	30.4.1 ～ 31.3.31	ベビーホー ム・虹	10 人	6 ヶ月～2 歳児 の待機児童 (118 名)	

(2) その他の事業

事業名 (定款に記載 した事業)	具体的な事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	事業費 の金額 (千円)

(備考)

- 1 2 は、(1)には特定非営利活動に係る事業、(2)にはその他の事業について区分を明らかにして記載する。
- 2 2(2)には、定款上、「その他の事業」に関する事項を定めているものの、当該事業年度にその他の事業を実施しなかった場合、「実施しなかった」と記載する。

(A4)